

[2014 年度 国際文化学部企画報告] 飯田・下伊那の「ふるさと大使」と語るSJ 国内研修

SJ, 委員会

(出版者 / Publisher)

法政大学国際文化学部

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

異文化 / 異文化

(巻 / Volume)

16

(開始ページ / Start Page)

158

(終了ページ / End Page)

159

(発行年 / Year)

2015-04

[2014 年度 国際文化学部企画報告]

飯田・下伊那の「ふるさと大使」と語る SJ 国内研修

SJ 委員会（大西、鈴木晶、高柳）

法政大学国際文化学部では、2012 年度から長野県の飯田・下伊那地方で、「スタディ・ジャパン（SJ）国内研修」を実施している。

これは、留学生に東京以外の視点から日本を眺める目を養ってもらうとともに、研修を通じて、留学生と一般学生が共同で課題解決に当たる目的で、夏休み中の 8 日間を使って行なっている。すでに本研修を 2 回、2010 年度からの短縮版プレ研修を含めると計 4 回の研修を経た現在、研修に込めた意図や目的がどの程度達成されているか、検証の時期に差しかかっている。

この企画は、首都圏に暮らす飯田・下伊那の「ふるさと大使」をお招きし、その方々の前でこれまでの SJ 国内研修や事前学習、さらにはこの秋に出かける第 3 回研修の予定などについて発表することで、点検作業を試みたものである。同時に、「ふるさと大使」の間で座談会を行ない、日頃の活動やその成果・課題等についても語っていただいた。

当日の参加者は 30 人ほどと、例年と比べると少なめだったが、留学生はじめ、事前学習授業を受けている学生や本学研究科の院生が、何人も参加したのが特徴的だった。

開始 3 年目を迎えた「SJ 国内研修」を振り返る、一つの良き場となった。

-
- 日時：2014年7月5日（土） 15：00～18：15
 - 会場：ボアソナードタワー 6階 0610
 - 内容：
 - <第1部>SJ国内研修および事前学習の成果発表と講評
 - ・事前学習授業の内容と成果
 - ・留学生によるSJ国内研修の報告と映像上映
 - ・今秋の第3回SJ国内研修の予定
 - ・「飯田・下伊那文庫」データベース化作業について
 - ・「ふるさと大使」3名からの講評
 - <第2部>「ふるさと大使」による座談会
 - ・3市町村紹介のDVD上映
 - ・座談会：参加者＝長沼節夫（飯田市）／佐々木武彦（松川町）／
矢澤西二（阿智村）＊敬称略
 - ①自己紹介と映像のコメント、②「ふるさと大使」の活動内容、
③わがまちの直面する課題、ほか
-